

中学校第1学年社会科学習指導案

期 日：令和4年11月18日

時 間：第5校時

対 象：第1学年C組27名

学校名：清心中学校

授業者：香川 嗣治

1 単元（題材）名

「世界の衣食住の多様性と共通性 民族衣装を中心として」

2 単元（題材）の目標

- (1)世界各地の住民の生活様式（今回は民族衣装）は地域によって様々であるが、その活動は衣・食・住・安全・健康などの人間としての基本的欲求に基づいていることを理解する。
- (2)世界各地の住民の生活様式には、その地域の自然環境が大きく関連していることを理解する。
- (3)世界各地の住民の生活様式に影響を与えるのは自然環境だけでなく、社会環境なども関連していることを理解する。
- (4)世界各地の人々が生活を豊かにするために、長い年月と多大な労力をかけた結果生み出された、様々な生活様式への正しい理解および尊敬の態度を育てる。

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連付けて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会条件と関連づけ、写真や地図、図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、個人的活動ならびにグループワークにおいて、主体的に追究しようとしている。

4 指導観

(1)単元（題材）・教材観

地理的分野の目標の一つに、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目し、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択、判断する力、またそれらを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うというものがある。

衣食住に関する学習は、生徒達も比較的興味を持ちやすく、自然環境との関係を中心に考察するだけでなく、宗教や慣習など社会的事象との関係など多角的に考察することができる。中でも民族衣装は生徒が好む学習対象と考えられる。学習形式はグループ学習とし、お互いに協力、話し合いながら学習することによって、自分だけでは考えつかないような視点や考察を生み出してもらいたいと考えている。

(2)生徒観

中1学年全体として社会科に対する苦手意識は強く、特に成績下位者における学習意欲の低さ是对応に苦慮している。その中でCクラスは明るく活発なクラスで、知的好奇心も比較的高い。またグループワークでは積極的に協力して学習を進めることができる。但し、通常授業では特定の発言者が何度も発言することが多く、多くの生徒が発表できるよう配慮する必要がある。

5 単元（題材）の指導計画と評価計画（全3時間扱い）

時	★目標 ○学習内容 ・学習活動	■評価規準（評価方法）
第1時	<p>★さまざまな地域の中から、自分たちが学習する地域・民族を選択し調べてみる。</p> <p>○提示された地域（暑い地域、乾燥した地域、温暖な地域、寒い地域、高地）から自分たちが学習する地域・民族を選択・決定する。</p> <p>○自分たちが担当する地域や民族衣装について調べてみる。</p> <p>・調べる内容や分担を確認する。</p> <p>・Chromebookで各自が調べる。</p>	<p>■グループでの協議に参加・協力しているか。〔主体的〕</p> <p>■自分の意見を表明できているか。〔思・判・表〕</p> <p>■他者の意見に真摯に耳を傾けているか。〔主体的〕</p> <p>■Chromebookの機能を適切に使いこなせているか。〔知・技〕</p>
	<p>★第1時で選択した地域・民族について調べ、その内容をまとめる。</p> <p>○調べた内容をまとめる。</p> <p>・グループ内で担当者がまとめた内容を再度検討する。</p> <p>○まとめた内容をプリントにする。</p> <p>・図や見出しなどを考え、レイアウトを考える。</p> <p>・実際にプリントを作成する。</p>	<p>■調べる情報源が適切か注意して調べる。〔知・技〕</p> <p>■調べる内容が目的に沿っており、まとめる段階で他者を意識しわかりやすくまとめているか。〔思・判・表〕</p> <p>■個人的活動ならびにグループワークにおいて、主体的に活動しようとしているか。〔主体的〕</p>
第3時（本時）	<p>★各グループのまとめを考察・発表する。</p> <p>○他グループのまとめについて考察する。</p> <p>・相違点と共通点を考察する。</p> <p>・自分の持っていたイメージ・情報と違う点はないか確認する。</p> <p>○グループ内で協議した内容を発表する。</p> <p>○他のグループの発表を聴いて、相違点・共通点を確認し、今までの生活様式とこれからの社会との関係について考察する。</p>	<p>■様々な地域の生活様式と環境との相互関係を理解する。〔思・判・表〕</p> <p>■様々な地域の生活様式の多様性と共通性を考察する。〔思・判・表〕</p> <p>■感覚的に意見を言うのではなく、過去に学習した内容なども参考に、理論的に意見を言えているか。〔思・判・表〕</p> <p>■これからの生活様式について考える。〔思・判・表〕</p>

6 指導に当たって

- (1)民族衣装のデザインや素材などを，その地域の自然環境や宗教・慣習などと結びつけて考える。また，それらの関係を論理的に説明する。(ロジカルシンキング)
- (2)自分たちのグループの学習内容のまとめと，他グループのまとめを比較・考察し相違点や共通点を明らかにしながら，多角的・論理的に考える。(クリティカルシンキング)
- (3)今回学習した内容を確認し，自由な視点で捉え，新しい民族衣装について考えてみる。
(ラテラルシンキング)

7 本時（全3時間中の3時間目）

(1)本時の目標

- ・様々な地域の生活様式と環境との相互関係を理解する。
- ・自分たちの調べた内容を中心に，他のグループの調べた内容と比較し，様々な地域の生活様式の多様性と共通性を指摘・考察する。
- ・伝統的な生活様式と変化していく社会との関係を考える。

(2)本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入 (10分)	○今時の活動内容と目的の確認 ・各グループが調べた民族衣装について概略を確認する。 ・今からの活動について確認する。	・時間がないのでわかりやすく，手短にする。	
展開 (35分)	○様々な地域の民族衣装の多様性と共通性を考える。 ・各グループがまとめた内容を基に，各地域の民族衣装の多様性を考察する。 ・同様に共通点を探す。 ○共通点を考察し，見た目は違っていても，その目的は人間として共通な基本的欲求を満たそうとしていることを確認する。 ○伝統的な民族衣装が変化していく社会とどのように関わるか考える。 ・カンガを使って新しい使い方を考えてみる。 ・実際に身にまとうなどしてみる。 ・各グループ発表。	・多様性とは相違点と言い換えることもできるので，グループ協議の様子を見て進んでいないようであれば助言する。 ・具体的な共通点から抽象的な事象へと転換させなければならぬので，難しい様子であれば助言する。 ・可能であれば，変わらない伝統と変化していく社会の関係の具体例を生徒に発問してみる。	■個人的活動ならびにグループワークにおいて，主体的に活動しようとしているか。〔主体的〕 ■他のグループの作成したプリントの内容を正しく理解する。 〔思・判・表〕 ■理解した内容について多様性と共通性について考察する。 〔思・判・表〕 ■変わらない伝統と変化していく社会の関係について，具体的な例を挙げながら考察する。 〔思・判・表〕

<p>まとめ (5分)</p>	<p>○さまざまな地域の生活様式はその地域の人々が生活を豊かにするために、長い年月と多大な労力をかけた結果生み出されたこと、その根本には生きるための絶え間ない努力の結果であることを確認する</p> <p>○生活様式には当然優劣はなく、それぞれの生活様式への正しい理解、および尊敬の態度の大切さを確認する。</p>	<p>・授業での学習で終わるのではなく、実生活の中での行動に結びつくようにする。</p>	<p>■本時で学んだことを実際の生活で活かすよう行動しようとしている。 〔主体的〕</p>
---------------------	--	--	---

8 参考文献

『中学生の地理』 帝国書院

『中学社会 地図』 帝国書院

『地理 資料集 世界 2022』 新学社

『カンガ・マジック 101』 ジャネット・ハンビー&デビッド・バイゴット
カンガ愛好研究学会誌・編
POLE POLE OFFICE 1995.3.25.